

Music Dance Visual Art

受講生
募集

講座編と
5つの実践編

マネジメントの基礎を学べる。アートの現場を体験できる。

地域を知り、地域で実践する アートマネジメント講座

2018

鳥取大学地域学部附属芸術文化センターでは、地域を知り、地域で実践するためのアートマネジメント講座を開講します。連続レクチャーからなる講座編、現場において学習する実践編を通じて、文化事業の企画・運営力を伸ばすことを目的とします。リサーチやワークショップなど広く芸術分野において有効な技術を学び、アーティストと出会い、音楽・ダンス・美術の制作・実践現場に携わることのできるプログラムとなっています。年齢・学生・社会人問わず受講できますので、事前説明会にぜひご参加ください。

説明会＋〈講座編〉第1回

スピーカー | 西岡千秋、竹内潔、筒井宏樹、木野彩子
(鳥取大学芸術文化センター)

7/19 (木)

19:00 ~ (18:30 開場)

HOSPITALE ホスピテイル

(旧横田医院・鳥取市栄町 403)

参加無料 / 申込み不要

主催 | 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
平成 30 年度 文化庁 | 大学における文化芸術推進事業



地域を知り、地域で実践する アートマネジメント講座 2018

〈講座編〉

地域資源顕在化のためのアートマネジメント講座

講座内容 |

地域との関係を意識した芸術のあり方を模索する各界・各分野の研究者・実践者を講師に招き、連続講座を行います。各回の講座では、実践編となる活動との関連を意識しつつ、それらを取り巻く社会的・理論的背景や課題、展望などを各講師から学びます。

10月以降、月に1回のペースで、パフォーミング・アーツと地域／音楽と地域／アート・プロジェクトと地域／アートと社会包摂といったテーマで講座を開催し、現代的な視点でのアートマネジメントと一緒に考えていきたいと思います。

〈実践編〉

School in Progress (スクール・イン・プログレス) 2018

[参加予定アーティスト] mamoru (サウンド・アーティスト)、山本高之 (ビジュアル・アーティスト)

School in Progress (スクール・イン・プログレス) は、フィールドワークやワークショップといった実践を通して、体験し、思考を深め、新たな知を獲得するためのオルタナティブなアートの学校です。ふたりのアーティストをディレクターに迎え、既にあるものや普段の生活・日常を見つめ直し、創造性の在処を見つけ、それを自らの内に育む力を身につける実践型プログラムを実施します。

プログラムの目的

地域におけるアートマネジメントは、これまで、ある程度評価の定まった芸術へのアクセスをいかに多くの地域で保障するか(芸術的価値の「普及」)に心を砕いてきました。しかし、近年では、地域における芸術的営みをいかに価値あるものとしてとらえることができるか(芸術的価値の「顕在化」)がより重視されるようになっていきます。このことは、地域の劇場や美術館といった拠点施設に「偏」在する芸術の「普及」と、施設に限らず地域のあらゆる場所に「遍」在する芸術の「顕在化」という課題としても立ち現れます。これらの課題に第一線で取り組まれている方を講師に招き、共に考える講座を目指します。

[開催日] 2018年9月(調整中)

[会場] ホスピタイル(旧横田医院) ほか

即興音楽とダンスのワークショップ

音楽とダンスの垣根を越えて踊り奏でるワークショップ。各回ゲストを招いて、ワークショップにおけるファシリテートの手法を学びつつ、実践を行います。ワークショップの考え方、場の作り方、配慮すべき点などを踏まえワークショップを自力で開催できる、あるいはサポートができるようになることを目指します。継続的に受講していただくと好ましいですが、各回ごとの参加も可能です。音楽演奏、ダンスの経験は問いません。

[開催日] 2018年7月22日、9月30日、11月18日、2019年1月26日、3月10日

[会場] わらべ館いべんとほーる

『死者の書 再読(仮)』公演制作

[出演予定者] やぶくみこ(ガムラン・パーカッション)、杵屋三七郎(江戸長唄)、三浦あさ子(東京照明)、木野彩子(ダンス)

折口信夫の長編小説『死者の書』をベースに鳥取大学芸術文化センター講師の木野彩子が城崎国際アートセンター(KIAC)で滞在制作するダンス公演のマネジメント業務を行いながら、山陰からダンス作品を創造・発信する方法について考えます。滞在制作中に KIAC に滞在していただくことができるほか、山陰アートネットワークを共に作る人を募集します。

[城崎滞在制作期間] 2018年9月3日-17日、試演会9月15、16日

[鳥取公演] 2018年12月27、28日、とりぎん文化会館小ホール

スペース・プラン記録展

1960年代後半から70年代にかけて活動した鳥取の前衛芸術家集団「スペース・プラン」の記録展の開催を予定しています。「スペース・プラン」の活動を通じて、戦後の鳥取文化を知り、地域で文化活動を実践することの先例を学びます。また、本展覧会は、アーティスト、キュレーター、デザイナー、インストーラーなどによってつくられますが、そのプロセスの話を聞くことで、それぞれの実践を知る機会となります。

[開催日] 2018年12月7日-19日

[会場] ギャラリー鳥たちのいえ

オフシアターのための公演オペラ「ヘンゼルとグレーテル」

指揮：新倉健 演出：中村敬一 出演：鳥取県在住声楽家

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の抜粋版を題材に、企画・制作サイドに焦点を当てた研修を行います。講座は4回シリーズで、オペラ作品への理解を深めながら、実際の稽古見学、演出家トーク、集客に関する講座などを予定しています。公演会場はオフシアター(劇場ではない場所)を使用し、音楽ホール以外の場所での上演方法、その活用への可能性を実践的に学ぶことができます。

[制作研修] 2018年10月-2月に4回を予定

[公演実施] 2019年1月に2回公演を予定

問い合わせ |

TEL 0857-31-5930 (アートマネジメント講座事務局・小倉)

0857-31-5073 (鳥取大学地域学部庶務係)

E-mail artma-info@ml.rs.tottori-u.ac.jp (小倉)

主催 | 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

地域資源を顕在化させるアートマネジメント人材育成事業
平成30年度 文化庁 | 大学における文化芸術推進事業

※講座受講希望者で7/19の事前説明会にお越しになれない場合は、別途お問い合わせください。